

令和4年度 長崎市立高島小学校 学力向上プラン

【学校教育目標】

心豊かでたくましく生きぬく児童生徒の育成

たくましく 感謝の心をもち 真剣に学び合う 「高島っ子」



めざす子ども像

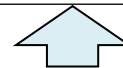
○思いやりと感謝の心を表せる子 ○ともに学び、ともに創り、ともに輝く子 ○たくましく行動できる子

めざす職員像

○郷土長崎を愛し、高島を愛する教職員
○豊かな人間性と教育的愛情、教職への使命感と情熱をもつ教職員
○子どもたちの「社会を生き抜く力」を育む教職員
○学校業務と自らの生活との「ライフ・ワークバランス」を実践し、子どもにゆとりをもって接する教職員

めざす学校像

○笑顔あふれる元気な学校
○思いやりのあふれる学校
○心と体にゆとりをもって行動できる学校
○地域とともにある学校



長崎市第五次総合計画

基本施策 G1

「長崎のまちを愛し、新たな時代を
生き抜く子どもを育みます」

○個別施策 G1-1

「確かな学力の向上を図ります」

第三期長崎県教育振興基本計画

2-1 一人一人を確実に伸ばす
確かな学力の育成

令和4年度 重点努力事項 (重点1)「確かな学力」の向上

- ① 「主体的・対話的で深い学び」が身につく授業の実践＋分かる楽しい授業
- ② 校内研究による授業力の向上
- ③ ICT 機器の効果的活用
- ④ 国際理解教育の充実
- ⑤ 中学校教員による乗入授業の効果への期待
- ⑥ 極小規模校での利点「個別指導、個別対応」の充実

重点目標（成果指標）

国語・社会・算数・理科において、本校で
採用している単元テストの「思考・判断・
表現」における全校平均点が85%以上
を目指す。



【児童の実態】

今年度の6学年の全国学力状況調査において、国語は県や全国の平均をやや上回っていた。しかし算数では、県平均を6%下回っており、数と計算以外の領域で正答率が低くなっていた。また問題形式について分析したところ、国語では選択式の問題の正答率が高かったのに対し、算数では落ち込みが見られた。

本校の児童は、どの児童においても、できるようになりたいという気持ちで真剣に授業に臨んだり、練習問題を繰り返し解いたりしながら学習に取り組んでいる。そのため、個人差はあるものの、基礎的な学力が少しずつ伸びてきている。しかし、新しい学習課題に取り組むときや自分の考えを伝えるときに、これまで学習したことや生活体験と結び付けて判断し、問題を解決したり、自分の考えを表現したりすることを苦手としている児童も多い。よって、学習指導要領に示されている思考力、判断力、表現力等を育成していくことが児童の学力向上に必要なである。

具体的な取組

長崎市立高島小学校



高島の宝である子どもたちの健やかな心と体の育成

あじさい スタンダードの活用

○あじさいスタンダードを活用し、確かな学力の向上を目指す。

複式学級の特性を 生かした授業

- 複式学級における「直接指導」「間接指導」や「ずらし」「わたり」等の指導方法を工夫する。
- 学習課題（めあて）を明確にし、ねらいに迫る発問をすることで、「間接指導」における子どもたちの主体的・協働的な学習活動の充実を図り、思考力、判断力、表現力を育む。
- 少人数のよさを生かし、個々に応じた指導を充実させる。
- 校内研究では、「めあて（学習課題）」の中に思考スキルを設定し、学習活動を具体的にすることで、児童の思考力、判断力、表現力の育成を図る。

幼小中学校の 連携を生かした指導

- 12年間を通した一貫性のある継続した指導を行う。
- 幼・小・中職員が協働し、入学時における学びの段差を解消する。
- 中学校職員が専門性を生かし、6年生の社会、5・6年生の外国語、2～6年生の音楽で乗り入れ授業を行うことで学力向上を図る。
- 幼小中で合同行事に取り組み、異なった多くの学年と活動することを通して、自分を見つめ、自己実現に向けた意欲を高める。

ICT 機器活用

- 子どもたちがよりよくわかる授業を実現するために、ICT 機器を活用する。
- ICT 機器を用いて調べたり、発信したりする活動を通して、児童の学び合いや協働的な学習を充実させるとともに、情報収集能力や情報活用能力を高める。

交流学习や平和教育

- 修学旅行における伊王島小学校との交流学习などを通して、多様な考え方に触れるとともに、生活体験を豊かにすることで、自己肯定感を高める。
- 平和教育を通して、自他のよさや望ましいいかかわり方に気付き、思いやりの心を育成する。

家庭教育と 学校教育の連携

- 「早寝・早起き・朝ごはん」をキーワードにし、生活リズムを身に付けさせる。
- 「すこやかファイル」を活用して、健康・安全・正しい生活習慣に対する意識を高める。
- 学校保健委員会の提案をもとに、学校、家庭、地域が一体となり、子どもたちの健康増進や体力向上を目指す。
- 「高島っ子の約束」を家庭に配布し、学習規律やきまりについて学校と家庭で共通理解を図る。

基礎基本の定着

- 週に1回、一斉に読書を行う読書タイムを設定する。
- 週に2回のチャレンジタイムを有効的に活用し、確実な基礎基本の定着を図る。